防爆器具

防爆環境　●防爆器具解説　爆発性ガス(可燃性ガス・可燃性液体)による爆発防止のために、労働安全衛生法などの各種の法的規制があります。

爆発性ガスの分類

●ガス蒸気防爆2006による爆発性ガスの爆発等級と発火度
(詳細は(公益社)産業安全技術協会発行の「ユーザーのための工場防爆電気設備ガイド」を参照ください。)

発火度 ＼ 爆発等級	発火温度による分類				
	450℃超えるもの	300℃超え450℃以下	200℃超え300℃以下	135℃超え200℃以下	100℃超え135℃以下
	G1	G2	G3	G4	G5
1	アクリロニトル アセトニトリル アセトン アンモニア 一酸化炭素 エタン エチルメチルケトン O-キシレン m-キシレン p-キシレン クロロベンゼン 酢酸 酢酸エチル 酢酸メチル シアン化水素 臭化エチル スチレン トルエン プロパン ベンゼン メタノール メタン	イソオクタン イソブタノール エタノール エチルアクリレート 酢酸n-アミル 酢酸イソアミル 酢酸ビニル 酢酸ブチル 酢酸プロピル シクロヘキサノン 1.2-ジクロルエタン チオヘン 1.3-ブタジエン 1-ブタノール ブタン プロパノール 無水酢酸 メチルアクリレート プロピレンオキシド	イソプレン N-塩化ブチル オクタン ジブチルエーテル ジメチルエーテル ガソリン ヘキサン デカン テトラヒドロフラン ブチルアルデヒド ペンタン 1-ペンタノール 2-メチルヘキサン 3-メチルヘキサン	アセトアルデヒド エチルエーテル	
2	石炭ガス	エチレン エチレンオキシド	硫化水素		
3	水性ガス・水素	アセチレン			二硫化炭素

●技術指針2008による防爆電気機器のグループ及び温度等級と対応する爆発性ガス
(詳細は(公益社)産業安全技術協会発行の「ユーザーのための工場防爆電気設備ガイド」を参照ください。)

爆発性ガスの発火温度			450℃超えるもの	300℃超え450℃以下	200℃超え300℃以下	135℃超え200℃以下	100℃超え135℃以下	85℃超え100℃以下
			T1	T2	T3	T4	T5	T6
防爆電気機器のグループ	Ⅱ	ⅡA	アセトン アンモニア 一酸化炭素 エタン エチルメチルケトン o-キシレン クロロベンゼン 酢酸 酢酸エチル スチレン トルエン プロパン ベンゼン メタン	エタノール エチルベンゼン 塩化アセチル 塩化ビニル 酢酸ビニル 酢酸ブチル 酢酸プロピル シクロペンタン ジメチルアミン 1-ブタノール ブタン プロピルアミン プロピレン メタクリル酸エチル メタクリル酸メチル	エチルシクロヘキサン エチルシクロペンタン 塩化ブチル オクタン シクロヘキサノール デカン ヘキサン ヘプタン ペンタン メチルシクロヘキサン ガソリン ケロシン 石油ナフサ テレビン油	アセトアルデヒド		亜硝酸エーテル
		ⅡB	アクリロニトリル シアン化水素 シクロプロパン コークス炉ガス	アクリル酸エチル アクリル酸メチル エチレン エチレンオキシド 1.3-ブタジエン フラン	アクリルアルデヒド クロトンアルデヒド ジメチルエーテル	エチルメチルエーテル ジエチルエーテル ジブチルエーテル 硝酸イソプロピル テトラフロロエチレン		
		ⅡC	水素	アセチレン			二硫化炭素	硝酸エチル

●爆発性ガスの適用範囲が「ガス蒸気防爆2006」と「技術指針2008」で異なる部分がありますので詳しくは上記表で確認してください。

※防爆照明器具の検定の規格
①工場電気設備防爆指針(ガス蒸気防爆2006)
②工場電気設備防爆指針(技術指針2008)

⚠施工上のご注意

●産業安全技術協会発行の工場電気設備防爆指針に示された危険場所に適した器具を選定してください。適用以外の器具を使用した場合、火災、爆発等の原因となります。
●器具の取付けは取扱説明書に従ってください。取付けに不備があると器具落下、感電、火災、爆発(爆発性ガスが危険雰囲気を生成した場合)の原因となります。
●器具を改造したり、部品を変更して使用しないでください。落下、感電、火災、爆発(爆発性ガスが危険雰囲気を生成した場合)の原因となります。
●アース工事は工場電気設備防爆指針・電気設備の技術基準に従い確実に行ってください。アースが不完全な場合は、感電の原因となります。D種(第三種)接地工事
●この器具は、腐食性ガス雰囲気場所には使用しないでください。そのまま使用しますと、変質、変色、絶縁不良、器具の落下の原因となります。
●この器具は、振動の激しい場所には使用しないでください。そのまま施工されますと、器具落下の原因となります。
●器具(安定器)の定格電圧と電源電圧(定格±6%):使用地域の周波数は、器具の取付けの際に必ず確認ください。間違って使用しますと、ランプの短寿命、安定器などの損焼、火災、爆発(爆発性ガスが危険雰囲気を生成した場合)の原因となります。
●周囲温度は−20℃～+40℃以外では使用しないでください。(蛍光灯器具は+5℃～+40℃) 器具により使用可能温度範囲が定められていますのでご確認ください。火災、爆発(爆発性ガスが危険雰囲気を生成した場合)の原因となります。
●粉じん防爆仕様ではありません。
●耐圧防爆のケーブル配線は、専用のケーブルグランドをご使用ください。
●照明機器の工事に関しては、電気工事の有資格者の施工管理が義務付けられている旨は、カタログ巻末を参照ください。

⚠使用上のご注意

●ランプ交換やお手入れの際は、取扱説明書に従って行ってください。落下、感電、火災、爆発(爆発性ガスが危険雰囲気を生成した場合)の原因となります。
●ランプ交換やお手入れの際は、必ず電源を切ってください。また、周囲に爆発性ガスが存在していないことを十分確認のうえ行ってください。電源を入れたままランプ交換を行うと、感電、爆発(爆発性ガスが存在するとき)の原因となります。
●ランプの交換の際は、必ず取扱説明書通りの種類・ワット(W)数の適合ランプをご使用ください。適合ランプ以外は、防爆検定上ご使用になれません。誤って使用されると、不点、爆発(爆発性ガスが危険雰囲気を生成した場合)の原因となります。
●ソケットカバー蓋の取付けが不完全な状態で使用している場合には爆発(爆発性ガスが危険雰囲気を生成した場合)の原因となります。
●器具を清掃する際は、布を中性洗剤に浸し、よく絞ってから拭きとってください。
●金属部分をクレンザーやたわしで磨かないでください。傷つけたり、腐食の原因となります。
●器具をガソリン・ベンジン・シンナーなどの薬品で拭いたり殺虫剤をかけないでください。塗装が変色、剥離などの原因となります。
●この器具の平均的な寿命の目安は、使用条件、環境により異なりますが約10年です。
(定期的に工場電気設備防爆指針の防爆電気設備の保守等による点検を実施してください。)

●この紙面に掲載の全商品の価格には消費税は含まれておりません。
●価格後ろの印説明 ◎地区物流倉庫(一部工場倉庫)在庫品、○工場倉庫在庫品、▲受注生産品(納期 約2～6週間)、※在庫限り品です。納期は目安ですので、都度お問合せください。